

今年のキリスト教週間 C-week は 6月4日(月)～9日(土)

ICU 高校では、毎年6月初旬の一週間を「キリスト教週間（C-Week）」として、いくつかの行事が行われます。一つ一つのキリスト教行事に、ぜひ、能動的に（好奇心を持って！心を開いて！）参加してください。

放送礼拝・・・6月4日（月）朝、6月9日（土）朝、各 HR 教室における放送礼拝。

キリスト教週間の始まりと終わりに、各教室で放送礼拝を行います。お話は、中村校長先生と中寫副校長先生です。

ペンテコステ礼拝・・・6月6日（水）朝8時30分 大学チャペルに直接登校。全校礼拝。

イエスの昇天後、集まり祈っていた弟子たちの上に聖霊がくだると、弟子たちは多様な言葉で話し出しました。世界・日本の各地から集まったICU高校生に、多様な言語で聖書を朗読してもらいます。

近日中に朗読する人を募集します！ 詳しくは教室に掲示するポスターをご覧ください！

キリスト教講演会・・・学年ごとに、お話を聴きます。

1年生は6月8日（金）5・6限。 高校体育館にて。講師は、大嶋重徳さん（キリスト者学生会 KGK 関東主事）。
2年生は6月5日（火）5・6限。 2・3年生ともに、会場は大学D館にて。講師は、斉藤くるみ先生（日本社会事業大学社会福祉学部教授）、荘恵以子先生（英語・日本手話通訳などで活躍）。
3年生は6月5日（火）3・4限。

マルチイベント・・・6月6日（水）ペンテコステ礼拝後、20のイベントにわかれて全員が参加。

「マルチイベント」とは、いかに生きるか、国際協力、環境、社会、福祉、文化、宗教などについて考える多様なイベントの中から、自分の関心にしがって選び、どれか一つに参加するものです。この FORUM をよく読んで、希望調査を出してください（Google フォームで期限内に必ず入力をしてください）。

マルチイベント希望調査

2年生へ みなさんにとってこのイベントは「総合学習」であるため、初めに2年生の希望を取ります。2年生はなるべく第1志望を通します（ただしどうしても調整できない場合もありますので、第2希望も必ず出してください）。なお、2年生は18～20の企画を選択することはできません（選択しても無効になります）。**5月11日(金)15:30までに Google フォームに入力してください。**

1・3年生へ 2年生の調査が終わってから希望調査を行います。2年生ですでに定員が埋まってしまったもの（後日お知らせします）は選択できません。まず3年生、次に1年生、の順に決定します。定員に限りがありますので、かならず第3希望まで出してください。希望者多数の場合はこちらで抽選させていただきます。後日お知らせする用紙にしたがって、来週の木曜、5月17日15:30まで（予定）に、Google フォームで入力してください。

Google フォームへの入力は、スマートフォン、または、PC からできます（昼休みや放課後はコンピュータールームも開いており、PC を使うことができます）。必ず、期限内に入力を行ってください！

※キリ活委員には、明日10日木曜12:50にAVルームにて行われるキリスト教活動委員会で、入力について説明します。クラスの人、キリ活委員に入力方法など聞いてください。まず、自分の Google アカウントとパスワードを確認しておいてください。何か質問があれば、キリスト教活動委員会 網嶋（あみしま・数学科）まで。

1 世界の子どものための「今を守る」「希望を創る」教育支援（定員40名）

①「世界一大きな授業」ギネス世界記録として認定された世界でもっとも多くの人々が参加した授業。学校に行けない世界の子どもの現状をワークショップ形式で紹介します。

②南スーダンで発生した暴力により難民となった子どもたちの「今」についてお話したのち、その子どもたちの「未来」をとともに創るためのアイデアを考え、発表します。素晴らしいアイデアは、もしかすると実現するかもしれません…！？

お話 堂道有香（どうみち・ゆか）1985年東京で生まれ、子ども時代はアメリカ、テキサス州で過ごす。高校・大学ともにICUを卒業。サッカーの指導に関わったのち、国内子ども支援をするNPOに5年間勤め、2014年より現職（国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンで広報を担当）。

松本諺子（まつもと・ようこ）大学卒業後、一般企業にて3年間勤務し、2008年にワールド・ビジョン・ジャパンに入団。

2 食べものと命 ～ 共に生きるために by アジア学院 (定員 40 名)

「フードライフ=食べものと命は切り離せない」。これはアジア学院の大切なキーワードです。今回はスリランカ出身のアジア学院卒業生ニルさんと一緒に、食べものと命について考えてみませんか！アジア学院には毎年約 15 か国 30 名のアジア・アフリカの農村リーダーが集まり、有機農業・自給自足・共同生活をベースに研修を行っています。毎年アメリカやドイツ、日本からのボランティアも共に共同生活をしています。アジア学院の卒業生は 57 か国 1300 名以上。不思議な多国籍空間です。ICU 高校も毎年 7 月に「英語で農作業スタディツアー」を行っています。国際貢献の現場を体験できるこのツアーに興味のある人、国際協力、有機農業、食の問題に興味のある人はぜひ参加してください！アジア学院の特製クッキーも食べられます！

お話 八木沢淳（やぎさわ・じゅん）アジア学院職員。外資系機械メーカーで広報 PR を担当していたが、一冊の本、そして著者との出会いがきっかけで競争社会から共生社会への転換の必要性に気づく。その後転職を決意し、2016 年 4 月からアジア学院職員に。広報 PR 担当。

Ms. Niranjala Manchanayake（ニランジャラ・マンチャヤケ 通称：ニル）2000 年度アジア学院卒業生、2018 年度研究科生。スリランカ出身。農業企画調整員を経て、現在は幼稚園教諭として、小さな子供たちの劣悪な食と生活の改善に取り組んでいる。

※食物アレルギーのある生徒は、特製クッキーを食べられないかもしれませんが、イベントには参加できます。

3 国連機関で働く面白さとやりがい (定員 40 名)

国連の制度の説明ではなくて、働いた経験者が何を感じたかという体験談を中心に話します。また、キリスト教の価値観と国連の目指す価値観とが相互補完的であるといった、やりがいに関わるメッセージもお伝えします。「平和を作り出す人々は幸いである」といった聖書の価値観と重ねながら、国連の目指す平和について考えてみましょう！国連に勤めた経験をお話するだけでなく、高校生の皆さんの意見や考えも、お聞きしてディスカッションをしたいと思います。前もって生徒さんのご質問も聞いておきたいです。国際機関で働きたい、世界の平和に貢献したいと思っている人、ぜひ、参加してください。

お話 山本和（やまと・かのう）日本銀行を経て IMF（国際通貨基金）IMF（国際通貨基金）UNICEF（国連児童基金）で活動。国際基督教大学教授・常務理事。元 ICU 高校担当理事、AFICS-JAPAN。

ほか、国連 OB・OG がいらっやいます。

4 「少数民族の言語を研究する」

～マリ語とその文化、それを取り巻く社会について～ (定員 40 名)

ロシア固有の言語である「マリ語」について紹介する。言語に関する話題を中心に、マリの文化や、マリを取り巻くロシアの社会状況についても紹介したい。必要に応じて、音声や画像も利用する。同時に言語研究の手法や言語の多様性についても触れ、受講者の言語に対する興味や関心を大いに刺激したい。（田中孝史）

お話 田中孝史（たなか・たかし）東京外国語大学。言語学研究者。

5 死刑制度を考える (定員 40 名)

2013 年 2 月、楓ちゃん（小 1）誘拐・殺人事件の小林薫死刑囚の刑が執行された。父は「これで楓が戻ってくるわけではありませんが、少しは無念を晴らしてあげられたかもしれません。小林死刑囚が自ら犯した罪を真摯に受け止め、刑に向き合ってくれたと信じたいです。小林死刑囚の命も一つの命であり、今後私達は楓の命、加害者の命の重さを背負っていかなければなりません」とコメントした。一方死刑制度に反対する団体等は相次いで抗議。実際に死刑廃止国は 90 カ国以上に上る。しかし、日本では 8 割以上の方が死刑制度を支持するという。死刑制度を賛否両面から議論し、社会のルールのありかたを根底から考えてみよう。

お話 田鎖麻衣子（たぐさり・まいこ）弁護士・博士（法学）。NPO 法人監獄人権センター事務局長、一橋大学非常勤講師。死刑制度をはじめ刑事司法をめぐる諸問題に取り組む。

6 ホームヘルパーの現場から～介護の世界を、のぞいてみませんか？～ (定員 40 名)

藤原るかさんは、2000 年 4 月の介護保険制度の創設以前から、ホームヘルパーとして、多くの要介護状態のお年寄りのケアに携わってきました。百人百様、千差万別の訪問介護の現場で考えてきた、在宅ケアの奥深さや魅力、そして、人権について、お話を伺います。また、毎日 500 円を貯金して、現場でのお仕事の合間に、海外各国のヘルパーさんと交流したり、それぞれの現状を調査する「世界のヘルパーさんと会おう旅」を企画されており、日本の介護事情や生活文化などの違いをお伝えいただきます。（森實公輔・中西弘一）

お話 藤原るか（ふじわら・るか）1955 年生まれ。1990 年に公務員ヘルパーとなる。介護保険制度スタート時より、民間の訪問介護事業所に移り、現在に至る。「共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク」主宰。介護福祉士。著書に『介護ヘルパーは見た』（幻冬舎新書）など。

森實公輔（もりざね・こうすけ）介護福祉士。特養老人ホームなどに勤務。

7 GOSPEL WORKSHOP (定員 50 名)

新進気鋭のゴスペル指導者末田和美さんと、ゴスペルピアノ伴奏では第一人者の Piano Koji（栗野こうじ）さんが、本格的なゴスペルの歌唱指導をしてくれます。またゴスペルの歴史などについても学べます。ゴスペルは、基本的に金曜 W205 で練習が行われ、お二人の先生方も時折指導に見えますが、この日は時間もたっぷりありますので、思い切り歌い、思い切りはじめてください。（キリ活）

お話と演奏 末田和美（すえだ・かずみ）音楽学校在学中に、教会でゴスペルに出会う。その後 LA に留学。ヴォーカルテクニックを学びながら、さまざまな教会でゴスペルに触れる。帰国後、教会のプレイズチーム、教会主催のコンサートやゴスペル・クワイヤで指導を行う。女性 R & B ユニット、Joyful Noise Singers としても活躍中。

お話と演奏 ピアノコウジ 日本の音楽業界でミュージシャンとしてレコーディング＆ツアー、プロデューサーとして第一線で活躍。ゴスペルを通じてクリスチャンとなる。東京ホライズンチャペル音楽伝道師。

8 音楽を通して世の中にもっと愛を！ (定員 100 名)

熱い！愛があふれるロックバンドが ICUHS にやってくる！2001 年のバンド結成当初から「音楽を通して世の中にもっと愛を！」を精神的テーマにし、沖縄から札幌まで年間 100 本を超えるライブツアーを続けつつ、アメリカ、ブラジルなど海外でのツアーにも継続的にチャレンジ。2016 年、2017 年と 2 年連続で東京・日比谷野外大音楽堂にてワンマンライブを行い大成功をおさめる。また代表曲「ロックへの憧れ、フォーキーなオレ」と「人間活動」はカラオケ JOYSOUND、第一興商 DAM にてそれぞれ好評配信中。ノリにノったこのサウンドを、今！体感しよう！（吉里恵理子）

演奏とお話 サルーキ。メンバーはボーカル：千代延大介（ちよのべ・だいすけ）、ギター：森モーリー剛（もり・つよし）。

9 音楽を仕事にする～中東・インドの音楽と料理を楽しむ (定員 80 名)

毎年行なっている THE MUSIC PLANT 野崎さんの「音楽を仕事にする」シリーズ。今回は、音楽評論家、DJ にして、最近では中東料理研究家としても活動するサラーム海上（うながみ）さんにお話を伺います。単行本や雑誌、WEB での原稿執筆のほか、ラジオやクラブの DJ、オープンカレッジや大学での講義、中東料理ワークショップ等、現在大活躍中。選曲出演する J-WAVE の中東音楽専門番組「Oriental Music Show」が 2017 年日本民間放送連盟ラジオエンターテインメント番組部門最優秀賞を受賞。コミュニケーション言語は英語、フランス語、ヒンディー語、日本語。中東・インドを中心に、世界の音楽の奥深さ、日本では馴染みのない中東食文化を紹介していただきます。（野崎洋子・中西弘一）

お話 サラーム海上（うながみ） 詳しいプロフィールは http://www.chez-salam.com/salam_profile/

聞き手 野崎洋子（のざき・ようこ） THE MUSIC PLANT 代表。ヨーロッパの伝統音楽を中心に幅広く世界の音楽を紹介している。5 月にはエストニア、フィンランド、インド、6 月にはフランスと、音楽だけでなく文化を紹介するイベントを次々に企画制作している。

10 アフリカの自然に夢を託して (定員 60 名)

アフリカには美しく豊かな自然があり、多くの野生動物が暮らしている。写真家・山形豪はそんな自然の姿を 25 年に渡り撮り続けてきた。この講座では、スライドショー形式で動物たちのありのままの姿を見せると共に、密猟や環境破壊など、アフリカの自然が直面している問題などについても考察する。また、いかにして好きなことを生業（なりわい）として生活できるようになったのか、日本にいる間はどのような活動をしているのかなど、“写真を撮る” だけではない写真家という仕事の側面も紹介する。

お話 山形豪（やまがた・ごう） アフリカの野生動物や風景を撮り続ける自然写真家。1993 年 ICU 高校卒。日本写真家協会（JPS）会員

11 災害医療の現実 (定員 40 名)

厚生労働省職員として東日本大震災や熊本地震の最前線で業務に携わり、現在も災害派遣医療チームの養成研修の運営をしています。これまで歩んできた現場での経験を踏まえ、災害医療の現場で必要なこととお話したいと思います。また、東京のような人口の密集した都市で起こる都市災害について学習し、自分の住まう地域において平時からできる災害時の備えを地域資源という観点から、ともに考えたいと思います。災害について興味を持っていただき、さらに学が契機としてもらえたら嬉しいです。（望月聡一郎）

お話 望月聡一郎（もちづき・そういちろう） 東京大学、東京医科歯科大学大学院で医療政策等を勉強し、厚生労働省勤務を経て、現在は国際医療福祉大学院教授。専門は保健医療福祉政策、災害医療、健康危機管理。

12 人工知能とこれからの未来について (定員 40 名)

「シンギュラリティ」「特異点」「2045 年問題」という言葉は聞いたことがありますか？現在の人工知能 AI の IQ はまだまだ到底人間には及びません。しかし、10 年後の 2028 年の人工知能 AI の IQ は、現在の人間の IQ=100 どころか、10,000 まで到達すると言われています。その数年後には IQ が 1 億を超え、2045 年には全人類の知性を超えてしまいます。これが世にいう「2045 年問題」で、人類は果たして本当に AI をコントロールできるのか分かっていないのです。このイベントでは、最新の IT 業界の情報について語ります。この機会に、将来の仕事、自分の夢を、友人と一緒に真剣に考えてみませんか。

お話 石原 潤一（いしはら・じゅんいち） ICU 高校 12 期生。自動車修理会社、子ども向けのロボット製作・プログラミング教室、ドローン事業・パイロットスクールを運営。

13 自分の人生を決めているのは自分？ (定員 40 名)

2004 年の中越の震災や、2011 年の東日本大震災が私の人生を大きく変化させてきました。簡単にわたしの人生の話や高校生のときにやりたかったことの話などをしつつ、高校生の皆さんの人生を決めているものは何か？皆さんがこれまでの人生の中で大事だと思ってきたものは何か？を簡単なワークの中で振り返り、皆さんと対話をしてみたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

お話 丸川正吾（まるかわ・しょうご） 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング研究員。行政のお困りごと相談役として、主に地域の未来を市民の人たちと一緒に考える仕事をしています。

14 「やってみたい」を叶える社会のつくり方 (定員 40 名)

「やってみたいことがあるけど、お金が足りない…」 「どんな人が応援してくれるか分からない…」 新しいことを始めるとき、どんな人も不安を抱えています。クラウドファンディングは、「お金」や「仲間」を集めることで、新しい挑戦を後押しする仕組みです。「ライブを開催したい！」「写真集を作りたい！」という想いから、「経済的に困難な子どもを支援したい！」「難民問題に取り組みたい！」という想いまで、「やってみたい」を考えてみませんか。

お話 酒向萌実（さこう・もみ） インターネットを使って寄付を集める仕組み「クラウドファンディング」を運営する CAMPFIRE ソーシャルグッド事業部 マネージャー。ICU 高校 32 期卒業生。

・・・以下の15～20の企画は、昨年の内容と基本的には同じです。・・・

15 日本の社会に自分の居場所をつくる～翻訳家、作家、講演家、心理カウンセラー。様々な仕事を通して、「自分」という素材をどう社会に提供するか～（定員40名）

「自分はこの先、日本でやっていけるんだろうか?」。そんな不安をもつ人も多いかもしれません。講師もその一人でした。帰国生のなかでもマイノリティの南米出身。人一倍の不安を抱え、うつ病を経験しながらも、今では多数の著作を出版し、講演活動をするようになりました。異質なものを嫌いがちな日本社会で自分を活かし、自分らしい居場所をつくるために必要だったのは、学歴ではなく、ものの考え方と自分を知ることでした。自らの経験から、一人ひとりがどうやって自分を活かしていけるのか、そのヒントをお伝えします。（寺田真理子）

お話 寺田真理子（てらだ・まりこ）長崎県出身。幼少時より南米諸国に滞在し、ゲリラによる学校脅迫や自宅の狙撃を経験。東京大学法学部卒業。多数の外資系企業での通訳を経て現在は執筆・翻訳・講演活動を行う。日本読書療法学会会長。日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー。著書に『うつの世界にさよならする100冊の本』（SBクリエイティブ）『日日は幸日』（全国コミュニティライフサポートセンター）、訳書に『認知症の介護のために知っておきたい大切なこと～パーソンセンタードケア入門』（筒井書房）『認知症を乗り越えて生きる』（クリエイツかもがわ）『なにか、わたしにできることは?』『虹色のコーラス』（西村書店）など多数

※事前に参加生徒に悩みや考えていることを書いてもらい、それにこたえていくような形で行います。

16 性別って男女の2つって思っていない?それだけじゃない、多様なの!（定員25名）

恋愛や夫婦を異性愛前提で考えてない?愛の形は1つじゃない、多様なの!こういう人ってテレビの中だけって思っていない?怖くて伝えられないだけ、身近にいるの!多様性を学ぶことで社会や自分の見え方が豊かになります。モノクロの世界からフルカラーの世界へ。テーマは、恋愛も含めて大きく捉えた性別の概念。セクシュアリティーと言います。セクシュアリティーの多様性を体感しながら学ぶ講座です。特に、フォーカスするのは「トランスジェンダー」。体だけじゃなくて心にも性別があるってどういうこと?性別を変えるってどうするの?カミングアウトとかが怖い?トイレとか戸籍とか夫婦とか、体の見た目だけで、男 or 女の2択のみ作られているこの社会環境にちょっと問題提起、一緒に考えてくれる人集まれ～!（飯田亮瑠）

お話 飯田亮瑠（いいた・あきら）ダイバーノン 代表。ICU卒業生。建築や工学の道へ進むが、社会人になってから教育や性に強い関心を持ち、働きながら通信制の大学に通い、養護教諭免許取得。現在は、小学生から大人まで、性の多様性や暴力防止をテーマに講演やWSを行う。

※本講座は、チームディスカッションなどアクティブな参加が求められます。

17 コミュニケーションの心理学（定員40名）

人と対話する時、どんな風に相手の話に耳を傾け、どんな風に自分の気持ちを伝えることが大切だと思いますか?今回は話の聴き方・伝え方のロールプレイやワークをしながら、より良いコミュニケーションについて考えてみます。心理学に興味のある人、コミュニケーションスキルを磨きたいと思っている人は是非ご参加ください。（渡邊美加）

お話 渡邊美加（わたなべ・みか）本校スクールカウンセラーで臨床心理士。心療内科・精神科医療領域で臨床経験を積んだ後、学校カウンセリングを行うように。本校での勤務以外に民間施設でのひきこもり支援にも携わっている。

・・・以下の18～20の企画は、2年生は選択できません。・・・

18 パイプオルガン講座（定員40名 ※1・3年のみ）

かつてメガヒットを連発した超有名ミュージシャンがどんな条件でも飲むから!と演奏を熱望したものの、教会施設という理由で果たせなかったICUのパイプオルガン。それにタッチできる!ICU生にしかない特別なチャンス。始業式・終業式などでも普段はお姿を見られないオルガニストの先生の解説と演奏により、オルガンの素晴らしさを深く知ろう!（キリ活）

お話と演奏 徳岡めぐみ（とくおか・めぐみ）東京藝術大学卒。ドイツで学びオランダの国際コンクールで優勝。ICUオルガニスト。

19 想いを叶えるために必要なこと（定員40名 ※1・3年のみ）

「もっと自分の気持ちをコントロールできたら良いのに・・・」「そうすればもっと自分が望むことを叶えることができるのに・・・」「でも、どうすればそんな理想の自分になれるのだろう?」日常生活を過ごす中で、誰もが一度は考えたことがあるのではないのでしょうか?チャレンジしたいけど勇気や自信が足りない。挑戦したいけど、失敗して落ち込んでしまうのがこわい。実はこれらの事柄は解決が可能で、そのためのほんの少しのコツを知り、実践するだけで、勇気や自信に満ちた、想いを叶える輝いた自分になることができます。今回、その為のエッセンスを2時間で皆さんにお伝えできることを、心から楽しみにしております。（本望和也）

お話 本望和也（ほんもう・かずや）(有)ワールドサクセス代表取締役。NLFA(日本リーダーシップ・ファシリテーター協会)認定ファシリテーター。メンタルトレーナー。「簡単で且つ効果的で誰でも出来る能力開発を」との思いで全国でセミナーを開催中。

20 覗いてみよう!日本舞踊の世界（定員20名 ※1・3年のみ）

歌舞伎と並行して約400年以上続く、重要無形文化財の一つである日本舞踊。総合芸術である日本舞踊の舞台の裏側を、今回特別に映像にてお見せし、日本舞踊家を裏で支える様々な職業をご紹介します。講義のみならず、実践として着付けや着物の種類について学んだり、お辞儀などの簡単な所作、扇の扱いや、女踊りと男踊りを体験していただきます。本講座を通して、一般的にどのような文化の価値が認められているのか、今後「伝統文化」として存続していく為に必要なことを考察します。（辰巳久美子）

お話 辰巳久美子（たつみ・くみこ）辰巳流五代目家元。玉川大学芸術学部 非常勤講師。國學院大學久我山高専女子特別講座 講師。（福）けいわ会 杉並の家保育園 非常勤講師。3歳で新橋演舞場にて初舞台。以降、国内外の舞台に出演。